



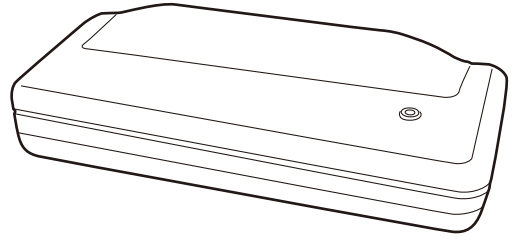
ご使用になる前に
この取扱説明書（保証書付）
を最後までお読みのうえ
正しくお使いください。

一般家庭用

フードパック

FDP-L430

取扱説明書



も く じ

安全上のご注意	1～2
各部の名称とはたらき	3
はじめに	4
ご使用上のポイント	5～6
使いかた	7～12
ご使用前の準備	7
フィルムの片側をシールする	8
フィルムを脱気密封する	9～10
フィルムを脱気せずに密封する	11～12
付属品の専用接続ホースについて	13
フィルムの再利用について	13
お手入れと保管	14
消耗品・別売品について	15
仕 様	16
故障かな？と思ったら	17～18
アフターサービスについて	18

ご購入いただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に
保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が
生じたとき、きつとお役に立ちます。

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない

禁止

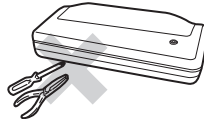


●延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火・火災の原因になります。



修理技術者以外の人には、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない

分解禁止



●発火したり、異常動作してけがの原因になります。
※故障と思われるときは、お買上げの販売店へ点検・修理をご相談ください。



電源・本体側プラグは根元まで確実に差し込む

指示に従う

●感電や発熱による火災、接触不良の原因になります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。ぬれた手で抜き差ししない

ぬれ手禁止

●不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。



包装用ポリ袋はお子様手の届かない場所に保管する

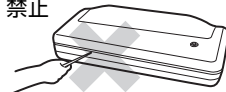
指示に従う

●誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。



開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない

禁止



●感電や異常動作してけがをする原因になります。



定期的に電源・本体側プラグのほこりを取る。プラグにピンやゴミを付着させない

禁止

●ピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。電源・本体側プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。



警告



指示に従う

本体に異常・故障・破損があったり、電源・本体側プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- 火災・感電・けがの原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店へ点検・修理をご相談ください。



水ぬれ禁止

本体や操作部に水（食品の汁なども含む）や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



禁止

電源コードや電源・本体側プラグが傷んだり、差し込みがゆるいときは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

お子様だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない

- やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損させたり、熱器具に近付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない

- また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災・感電の原因になります。 ※結束バンドは必ず外す。

注意



禁止

電源・本体側プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない

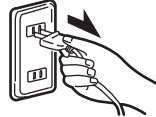
- 感電・ショートして発火することがあります。
- ※必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。



プラグを抜く

長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



禁止

脱気密封または密封した保存物はオープンで使用しない。またフィルムは火のそばに置かない

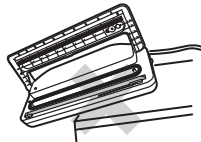
- フィルムが発火の原因になります。



禁止

不安定な場所や、湿気・ほこりの多い場所では使用しない

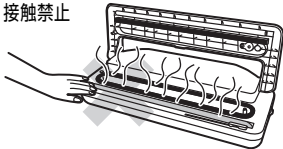
- けがをしたり、火災・感電の原因になります。



接触禁止

使用直後は本体の熱線やフィルムのシール部に触れない

- やけどの原因になります。



禁止

本体の上に乗ったり、重いものを載せない。また本体に強い衝撃を与えない

- 破損・故障・けがの原因になります。



禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。

※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ってください。



禁止

本製品は一般家庭用です。絶対に業務用には使用しない

- 本製品に無理な負担がかかり、火災・事故・故障の原因になります。

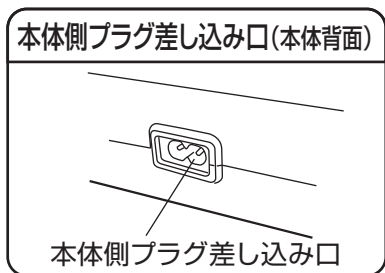
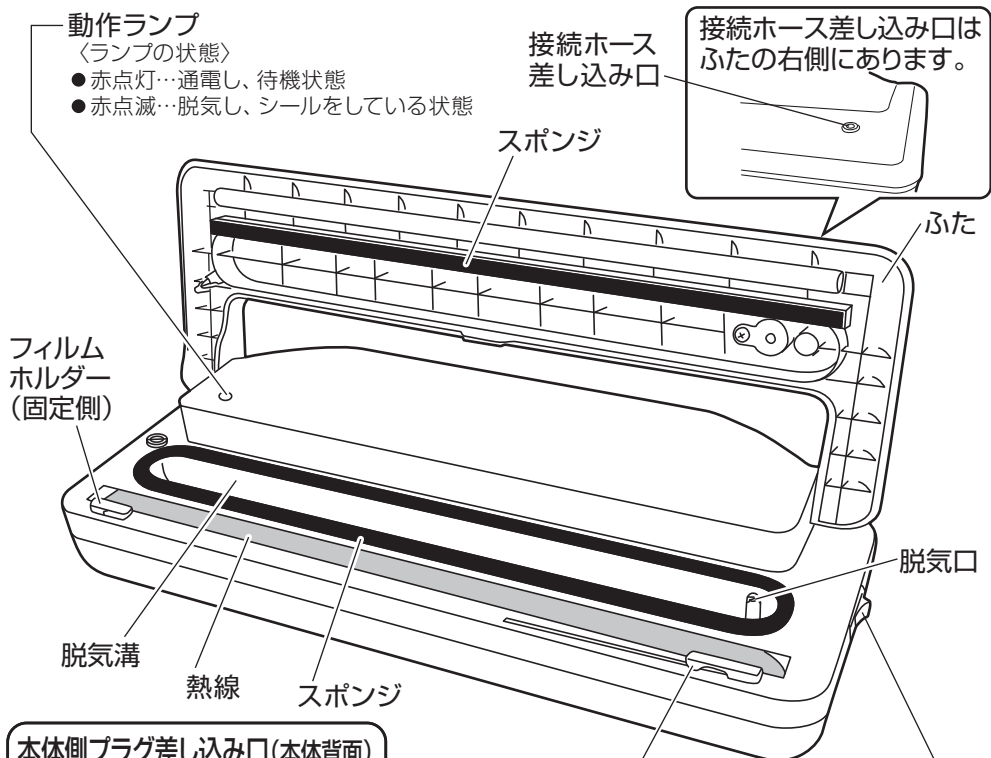


禁止

掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない

- 変質・破損などによりけが・事故の原因になります。

各部の名称とはたらき



フィルムホルダー (スライド側)

※ホルダーをスライドさせ、フィルムの幅に合わせて調節します。

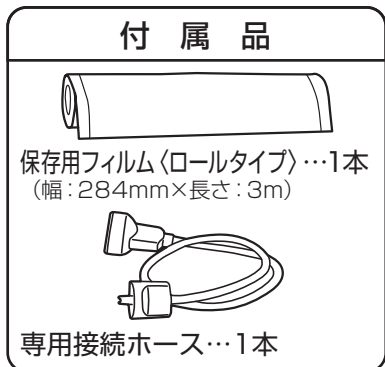
電源スイッチ
 ※電源の入・切をします。

結束バンド
 ※ご使用時は必ず外す。

本体側プラグ
 ※本体側に差し込みます。

電源コード

電源プラグ
 ※コンセントに差し込みます。



※使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめに

お知らせ.....

※取扱説明書内で説明している用語で「シール」とは「溶着」という意味です。

また、「脱気密封」とは「空気を抜いて密封」することを意味し、「密封」とは「空気を抜かないで密封」することを意味しています。

フードパックは脱気密封（密封）することによって、食品や生活用品などを上手に保存するものです。

- 食品を冷蔵庫や冷凍庫で上手に保存できます。
- 食品のニオイ移りを防ぎます。
- おもち、粉末類、乾物などを湿気や虫などから守ります。

※食品を保存するときは、脱気密封（密封）して冷蔵庫や冷凍庫に入れてください。

※この製品には殺菌作用はありません。食品を脱気密封（密封）したからといって「いつまでも大丈夫」と過信せず、できる限り早めにお召し上がりください。

フードパックの用途

■ 食品の保存に

- まとめ買い、または残った食品などを脱気密封（密封）し、冷蔵庫や冷凍庫で保存する際に便利です。
- ご家庭のニーズに合わせ、フィルムをお好みのサイズにカットして使用できるのでフィルムの無駄遣いを防ぎます。

■ 調理時間の短縮に

- 下ごしらえをした食品を脱気密封（密封）しておけば、すばやく調理ができます。
- 冷蔵庫や冷凍庫から脱気密封（密封）した食品を取り出し、そのまま茹でたり、電子レンジでの調理ができます。

■ 食品以外にも

- 食品以外のものも脱気密封（密封）することにより、湿気や汚れ、虫などから守ることもできます。

■ 持ち運びに便利

- 脱気密封（密封）することにより、アウトドアなどのレジャーの際、持ち運びに便利です。

定格時間について

（必ずお守りください。内部温度が上がり故障の原因になります。）

※シールや脱気後は、必ず30秒以上休止してください。

※この製品の定格時間は15分です。15分を越える使用はしないでください。
15分以上使用する場合は、60分以上休止してからご使用ください。

ご使用上のポイント

⚠ 水分に注意

フードパックは、非常に吸引力が強いのでわずかな水分も吸い込みます。

脱気溝に**水分**が溜まってしまうと、脱気口などから本体内部に水分が入り**故障の原因**になります。水分を含む食品や汁ものはお避けになるか**冷凍してから脱気密封してください。または別売の保存用密封容器を使用してください。**

※保存用密封容器については13ページと15ページを参照してください。

⚠ 汚れに注意

お使いの後は、必ず清掃をする。

脱気溝、脱気口、熱線に**汚れ**が付着したまま使用すると**故障の原因**になります。ご使用後は**必ず清掃をおこなってください**。特に脱気溝、脱気口、熱線の周辺は**水分や汚れをきれいにふき取ってください**。

■ 肉・魚の保存について

- 肉・魚は冷凍してから脱気密封する。
- 魚は内蔵を取り除く。
- 冷凍せずに脱気密封する場合はペーパータオルなどで包み、水分を吸収させてから脱気密封する。
- 調理前のハンバーグやギョウザなどはラップに包んでから脱気密封する。

ご使用上の注意

※肉・魚などは水分を多く含んだ状態で脱気密封すると、脱気口などから本体内部に水分が入り故障の原因になります。

■ 野菜・果物の保存について

- ブロッコリー、とうもろこし、グリーンアスパラなどは新鮮なうちに一度茹で、冷ました後ペーパータオルなどで水分を吸収させてから脱気密封する。
- レモンやパイナップルなどはスライスし脱気密封する。
- リンゴなどは皮をむいてから脱気密封する。

ご使用上の注意

※野菜や果物は呼吸をしており、ガスが発生します。調理をしていない状態で脱気密封して、しばらくすると袋がふくらんできますので、調理をしてから脱気密封し冷蔵庫や冷凍庫で保存してください。

※白菜などの野菜や漬けものなどの水分が多い食品は脱気せずに密封するか、別売の保存用密封容器を使用してください。

ご使用上のポイント つづき

■ 液状の食品の保存について

- カレー、シチューなどの調理物や、液状の食品はそのままでは脱気密封できません。あらかじめ冷凍してから脱気密封するか、脱気せずに密封する。

ご使用上の注意

※液状の食品は脱気する際、吸い込んでしまうため脱気密封には適していません。必ず冷凍してから脱気密封するか、脱気せずに密封または別売の保存用密封容器を使用してください。

■ その他の食品の保存について

- カニ、エビなど角がとがった食品はフィルムに穴が開くのを防ぐのと、水分を吸収させるためにペーパータオルに包んでから脱気密封する。
- 小麦粉やコーヒーなどの粉末状のものは、もとのパッケージごと脱気密封する。

ご使用上の注意

※キノコ類、ご飯、パン、スナック菓子などのかた崩れしやすい食品は脱気せずに密封するか、別売の保存用密封容器を使用してください。

■ 食品以外のものを脱気密封(密封)

- 湿気から守っておきたい常備品や衣類などを脱気密封(密封)しておくこともできます。

■ 脱気密封(密封)した食品の解凍・調理について

- 冷蔵庫、常温、電子レンジ、湯煎などで解凍・調理することができます。

※傷みやすい食品は常温で自然解凍しないでください。

■ 電子レンジで解凍・調理をする場合

電子レンジを使用する場合はフィルムの破裂を防ぐため、必ずフィルムの角を切り、空気の入りを自由にした後、深皿などに入れた状態でおこなう。

※油分の多い食品はフィルムから取り出し、別の容器に移し替えてから電子レンジで解凍や調理をおこなってください。フィルムに入れたまま電子レンジにかけると、フィルムが溶けたり発火することがあります。

⚠ 注意



脱気密封または密封した保存物はオープンで使用しない。またフィルムは火のそばに置かない

- フィルムが発火する原因になります。

ご使用上の注意

※脱気密封は真空に相当しません。脱気とは空気を抜くことを意味しています。

業務用などで使用されている、真空ポンプにより空気を抜き取る方法とは異なりますので完全な真空にはなりません。

※この製品には殺菌作用はありません。食品を脱気密封(密封)したからといって「いつまでも大丈夫」と過信せず、できる限り早めにお召し上がりください。

※いろいろな食品を混ぜて脱気密封(密封)しないでください。脱気密封(密封)する時は必ず同一の食品にしてください。

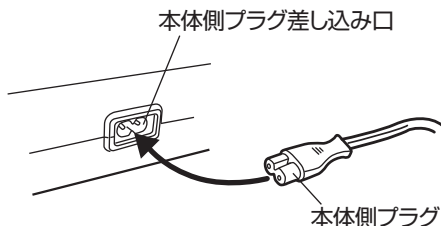
使いかた

ご使用の前に確認してください

- 必ず専用のフィルムをご使用ください。一般のポリエチレン袋などではご使用できません。
- ご使用前には、電源コードや電源・本体側プラグに傷などが無いかをご確認ください。

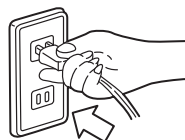
Step1 ご使用前の準備

- 1** 本体側プラグを本体側プラグ差し込み口に差し込む



- 2** 結束バンドを必ず外してから電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にする

- 動作ランプが赤色に点灯します。



⚠ 警告



交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない

- 延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火・火災の原因になります。

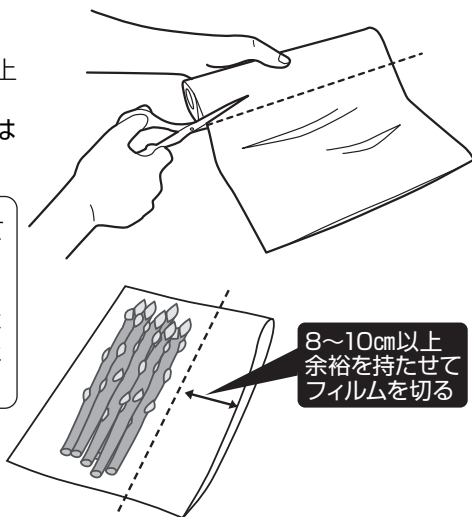
禁止

- 3** フィルムを必要な長さに切る

- 保存するものの大きさより8~10cm以上余裕をとり、必要な長さに切る。
- ※再利用のフィルムを使用する場合は13ページをご参照ください。

ご使用上の注意

- ※フィルムを切るときは、真っすぐに切ってください。曲がっていたり斜めに切るとシール不良の原因になります。
- ※保存するものに厚みがある場合は、充分な余裕をとって切ってください。余裕が短いとシール部分にシワが入りやすくなります。



使いかた つづき

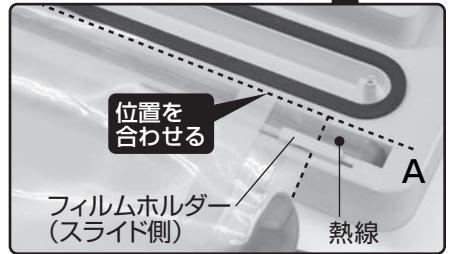
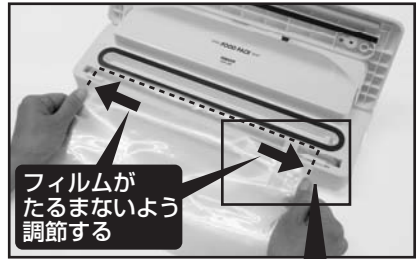
Step2 フィルムの片側をシールする

1 フィルムの位置を合わせる

- ふたを開け、フィルムの両サイドをフィルムホルダー（固定側）と（スライド側）にそれぞれ差し込む。
- ※フィルム内側の模様がある面を下側にしてください。
- フィルムホルダー（スライド側）をスライドさせ、フィルムの幅に合わせる。
- ※フィルムがたるまないように調節してください。
- フィルムの片側の端を熱線に合わせる。
- ※写真のように破線Aの位置に合わせてください。

フィルムは下記のことに注意して位置を合わせてください。シールがうまくできません。

- 絶対にスポンジを越さない。
- フィルム内側の模様がある面を下側にする。



2 ふたを閉じ、フィルムをシールする

- ふたを閉じ、ふたの両端を同時に押さえる。
- ※動作音が始まり、シールをおこないます。

動作ランプについて（動作状態を表示します）

- 赤点灯…通電し、待機状態
- 赤点滅…シールをしている状態



3 フィルムを取り外す

- 動作ランプが赤点滅から赤点灯になったらシール完了。
- ※動作ランプが赤点滅から赤点灯になったことを確認してからふたを開けフィルムを取り外してください。

⚠ 注意



接触禁止

使用直後は本体の熱線やフィルムのシール部に触れない

- やけどの原因になります。

ご使用上の注意

- ※ご使用の際は、定格時間を必ずお守りください。（詳しくは4ページの「定格時間について」をご参照ください。）

脱気密封する場合は9ページのStep3-1へ／脱気せず密封する場合は11ページのStep3-2へ

使いかた つづき

Step3-1 フィルムを脱気密封する

※脱気せずに密封する場合は、11ページのStep3-2へ

■脱気密封できるもの

かたちがしっかりした野菜、魚の切り身、冷凍した肉、冷凍した液状食品、衣類など

※液状の食品や汁ものは、必ず冷凍してから脱気密封してください。

1 保存するものを入れる

- 保存するものを入れる前に、フィルムの片側がしっかりとシールされているか確認をする。シール部にシワやゴミがあると脱気密封後に空気が入ります。

ご使用上の注意

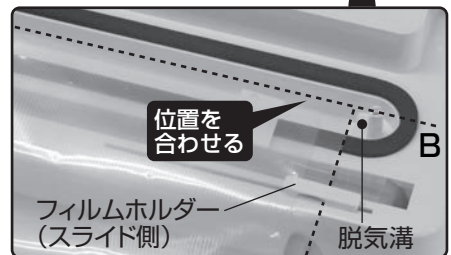
- ※保存するものは、一度に大量に入れしないでください。
- ※水気を含んだ食品を脱気密封する場合は、ペーパータオルなどで水分を吸収させるか、冷凍してから脱気密封してください。
- ※痛んでいる食品は保存しないでください。



2 フィルムの位置を合わせる

- ふたを開け、シールしていないフィルムの両サイドをフィルムホルダー（固定側）と（スライド側）にそれぞれ差し込む。
- ※フィルム内側の模様がある面を下側にしてください。
- フィルムホルダー（スライド側）をスライドさせ、フィルムの幅に合わせる。
- ※フィルムがたるまないように調節してください。
- シールしていないフィルムの端を脱気溝の中央部に合わせる。
- ※写真のように破線Bの位置に合わせてください。

フィルムは下記のことに注意して位置を合わせてください。シールがうまくできません。
●フィルム内側の模様がある面を下側にする。



使いかた つづき

3 ふたを閉じ、脱気してフィルムをシールする

- ふたを閉じ、ふたの両端を同時に押さえる。
※動作音が始まり、脱気からシールまでを自動でおこないます。

動作ランプについて(動作状態を表示します)

- 赤点灯…通電し、待機状態
- 赤点滅…脱気し、シールをしている状態



4 フィルムを取り外す

- 動作ランプが赤点滅から赤点灯になったら脱気密封完了。
- ※動作ランプが赤点滅から赤点灯になったことを確認してからふたを開けフィルムを取り外してください。
- ※脱気密封後、しっかりとシールされているか確認をしてください。シール部にシワやゴミがあると脱気密封後に空気が入ります。



⚠ 注意



接触禁止

使用直後は本体の熱線やフィルムのシール部に触れない

- やけどの原因になります。

ご使用上の注意

- ※ご使用の際は、定格時間を必ずお守りください。(詳しくは4ページの「定格時間について」をご参照ください。)

使いかた つづき

Step3-2 フィルムを脱気せずに密封する

■脱気せずに密封できるもの

水分(汁気)の多い食品、タレ付けの肉や魚、かた崩れしやすいキノコ類、ポテトチップスなどのスナック菓子など

※液状の食品や汁ものは、フィルム(袋)の半分以下の容量にしてください。
また脱気は絶対にしないでください。(脱気をする場合は必ず冷凍する)

1 保存するものを入れる

- 保存するものを入れる前に、フィルムの片側がしっかりとシールされているか確認をする。

ご使用上の注意

- ※保存するものは、一度に大量に入れないでください。
- ※液状の食品や汁ものを密封する場合は、フィルム(袋)の半分以下の容量にしてください。
- ※痛んでいる食品は保存しないでください。

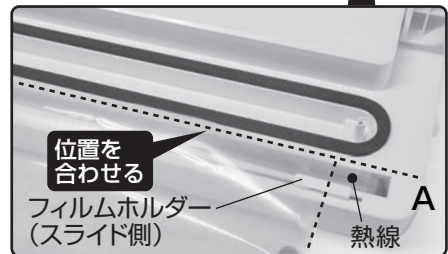


2 フィルムの位置を合わせる

- ふたを開け、シールしていないフィルムの両サイドをフィルムホルダー(固定側)と(スライド側)にそれぞれ差し込む。
- ※フィルム内側の模様がある面を下側にしてください。
- フィルムホルダー(スライド側)をスライドさせ、フィルムの幅に合わせる。
- ※フィルムがたるまないように調節してください。
- シールしていないフィルムの端を熱線に合わせる。
- ※写真のように破線Aの位置に合わせてください。

ご使用上の注意

- ※フィルムの端が脱気溝にかからないようにしてください。保存するものの水分が吸引され、脱気口などから本体内部に水分が入り故障の原因になります。



フィルムは下記のことにご注意して位置を合わせてください。シールがうまくできません。

- 絶対にスポンジを越さない。
- フィルム内側の模様がある面を下側にする。

使いかた つづき

3 ふたを閉じ、フィルムをシールする

- ふたを閉じ、ふたの両端を同時に押さえる。
※動作音が始まり、シールをおこないます。

動作ランプについて(動作状態を表示します)

- 赤点灯…通電し、待機状態
- 赤点滅…シールをしている状態



4 フィルムを取り外す

- 動作ランプが赤点滅から赤点灯になったら密封完了。
※動作ランプが赤点滅から赤点灯になったことを確認してからふたを開けフィルムを取り外してください。



⚠ 注意



接触禁止

使用直後は本体の熱線やフィルムのシール部に触れない

- やけどの原因になります。

ご使用上の注意

※ご使用の際は、定格時間を必ずお守りください。(詳しくは4ページの「定格時間について」をご参照ください。)

付属品の専用接続ホースについて

専用接続ホースは、保存用密封容器（別売品）を脱気密封する際に使用するものです。保存用密封容器を脱気密封する際にご使用ください。

※別売品については15ページをご参照ください。

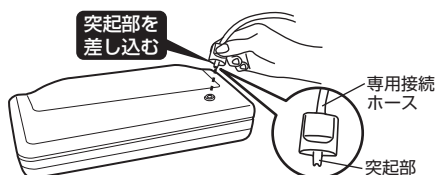
使いかた

1 保存するものを入れる

- 保存用密封容器に食品を入れてふたをする。

2 専用接続ホースを差し込む

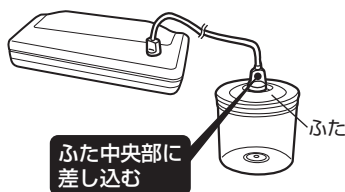
- 付属品の専用接続ホース片側の突起部を、フードパック本体の「接続ホース差し込み口」に差し込む。



3 脱気密封する

■密封容器：FDP-2510の場合

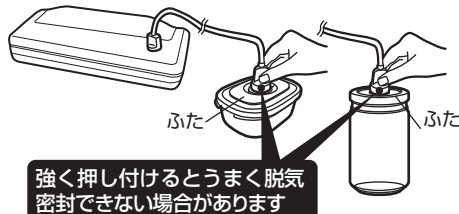
- 接続ホースの反対側を容器中央部に差し込み、フードパック本体の電源スイッチを「入」にして、ふたの両端を同時に押さえると、動作音が出て脱気密封を開始します。脱気密封が完了すると自動停止します。



■密封容器：FDPY-90/FDPG-50/FDPG-100の場合

※今後発売される密封容器に関しても、使いかたは同様となります。

- フードパック本体の電源スイッチを「入」にして、ふたの両端を同時に押さえ、動作音が出て脱気が始まったら、接続ホースの反対側を容器ふた中央部に合わせる。※強く押し付けない。脱気密封が完了すると自動停止します。



フィルムの再利用について

- 水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤でフィルムの内側と外側を、柔らかいふきんまたはスポンジでよく洗い、洗剤分が残らないようきれいに洗い流す。
 - 水気は完全に除去してよく乾燥させてから再利用する。
- ※肉類や魚介類、生もの、油っこいものに使用したフィルムは衛生上再利用しないでください。



お手入れと保管

■お手入れや移動の際は、電源プラグをコンセントから抜き熱線が十分に冷めたのを確認してからおこなう。フードパックは食品を扱う器具です。ご使用後は必ずお手入れをしていつも清潔な状態で使用する。

警告



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。ぬれた手で

ぬれ手禁止

- 不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。



本体や操作部に水(食品の汁なども含む)や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

水ぬれ禁止

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



注意



お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

禁止

- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になります。
- ※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ってください。



掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けけない

禁止

- 変質・破損などによりけが・事故の原因になります。

■ 本体のお手入れ

- 汚れは、水またはぬるま湯で、柔らかいふきんをよくしぼってふき取る。
- 落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤分が残らないようきれいにふき取る。
- 本体の丸洗いは絶対におこなわない。



特に脱気溝・脱気口・熱線の水分や汚れはきれいに

脱気溝・脱気口・熱線に水分や汚れが付着したまま使用すると故障の原因になります。

ご使用後は必ず柔らかいふきんで水分・汚れをきれいにふき取る。

※脱気溝に水分がたまっている場合は、本体を傾けて排水しない。本体内部に水分が入り故障の原因になります。水分はペーパータオルや柔らかいふきんで吸収してから、きれいにふき取る。

■ スポンジのお手入れ

- ふたを開け、スポンジを取り外し柔らかいふきんで水分や汚れをふき取り、もと通り取り付け。
- ※上下にあるスポンジは指でつまみ、引き抜いて取り外します。
- ※取り付けるときは、溝に押し込んで取り付けます。



■ 保 管

- お手入れした後よく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光を避けて湿気の少ない場所に保管する。(湿ったまま保管するとカビの発生や故障の原因になります。)

消耗品・別売品について

●お買い上げの販売店または、弊社商品取扱店にて下記指定品番の製品をご購入ください。

山善フードパック 専用品

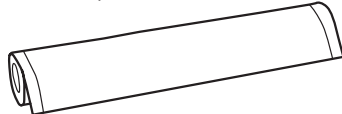
保存用フィルム〈ロールタイプ〉小

幅：207mm×長さ：6m／1本
品番：Y-FDP20
JANコード：4983771572852



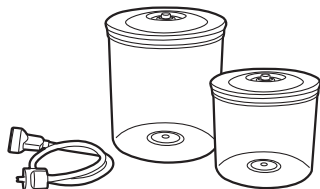
保存用フィルム〈ロールタイプ〉大

幅：284mm×長さ：6m／1本
品番：Y-FDP28
JANコード：4983771572845



保存用密封容器〈丸形〉

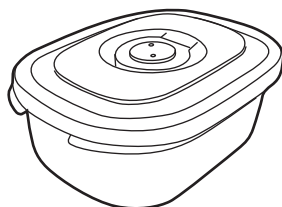
大：2.5ℓ、小：1ℓ／各1個入
品番：FDP-2510
JANコード：4983771813627



※容器(大小)、専用接続ホースがセットになっています。

保存用密封容器〈角形〉

0.9ℓ／1個
品番：FDPY-90
JANコード：4983771879821



保存用密封容器〈丸形/小〉

0.5ℓ／1個
品番：FDPG-50
JANコード：4983771879784



ガラス製

保存用密封容器〈丸形/大〉

1ℓ／1個
品番：FDPG-100
JANコード：4983771879791



ガラス製

■保存用密封容器はこんな食品を保存するのに便利

〈かたちの崩れやすい食品〉…キノコ類、ご飯、パン、スナック菓子など

〈液状の食品〉…カレー、シチューなどの調理物、手作りダレ、ドレッシングなど

〈水分の多い食品〉…漬けものなど

今後、保存用密封容器に関しましては随時開発を進めてまいります。

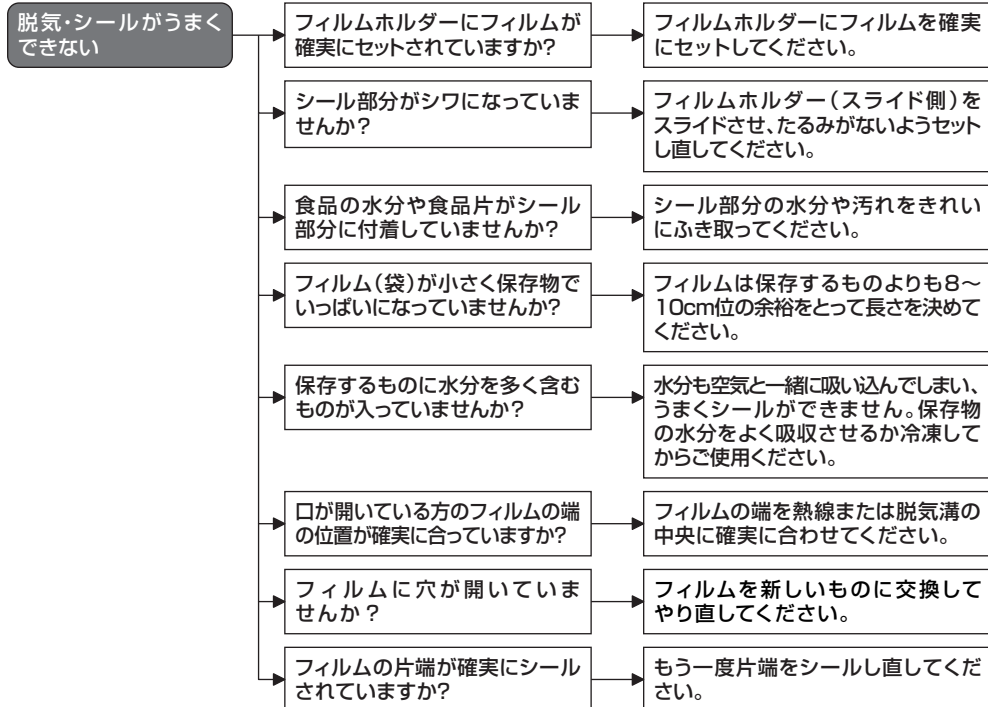
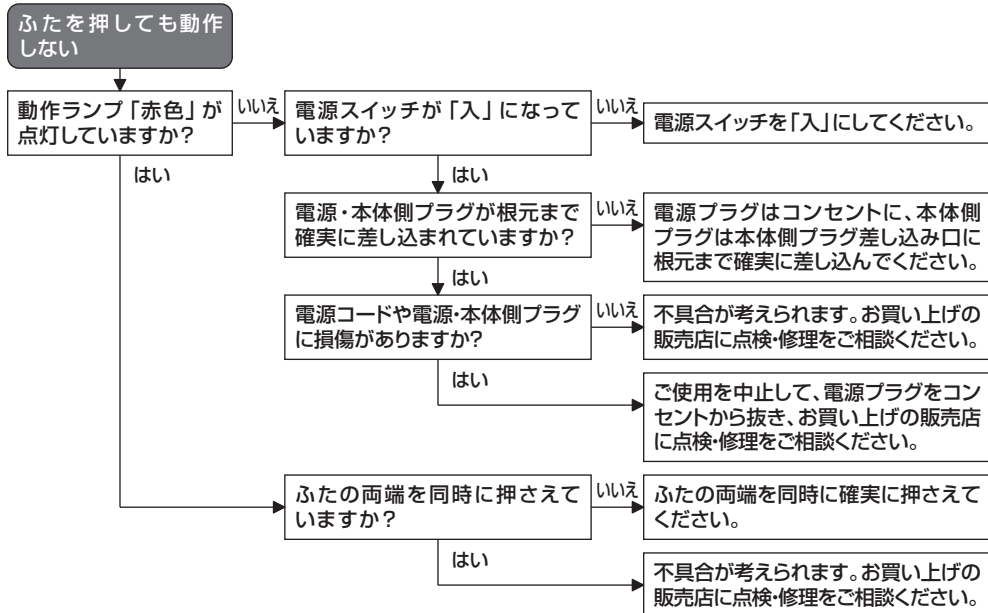
仕 様

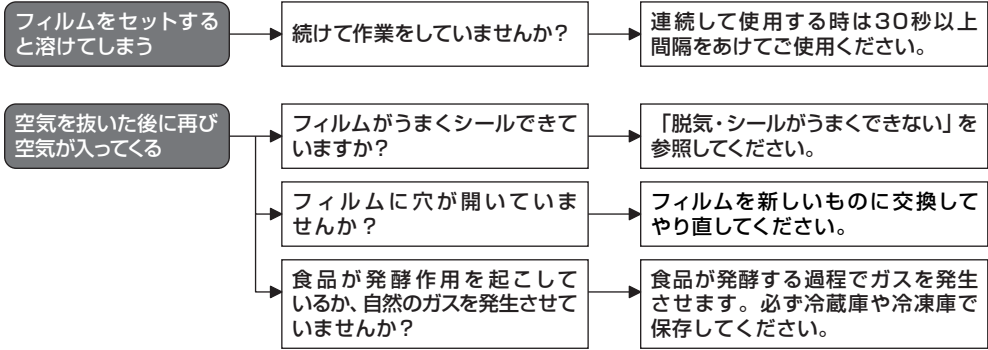
電 源	交流100V (50—60Hz共用)
消 費 電 力	80W
製 品 寸 法(約)	幅:365mm×奥行:155mm×高さ:65mm
製 品 質 量(約)	1.3kg (電源コード含まず)
コ ー ド 長(約)	1.8m
脱 気 圧(約)	57kPa (430mmHg)
接 着 部 温 度(約)	150℃
シ ー ル 時 間(約)	15秒 ※最初にフィルムをシールする時間。
定 格 時 間	15分 (15分以上使用する場合は、60分以上休止してから使用する)
休 止 時 間	30秒以上 (シールや脱気後に必要な休止時間)
シ ー ル 可 能 幅	最大:290mm
使用可能なフィルム	弊社指定のフードバック専用保存用フィルム
付 属 品	保存用フィルム<ロールタイプ> (幅:284mm×長さ:3m) ×1本 専用接続ホース×1本

※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更する場合があります。

故障かな?と思ったら

次の点検をおこなってください。





点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
 - 電源コード、プラグに深い傷や変形がある。
 - こげくさいにおいがする。
 - 電源コードを動かすと通電しないことがある。
 - 器具に触れるとビリビリと電気を感じる。
 - その他の異常や故障がある。
- 電源・本体側プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため、電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- ①この製品には保証書がついております。お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。保証期間中の修理はお買上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理（有料）についてはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」へお問い合わせください。

この製品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

●FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は、商品名・形名・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

お電話
ダイヤル **0570-077-078**
※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

●FAXでの
ご相談は **0120-680-287**
●Eメールでの
ご相談は **info_m@yamazen.co.jp**

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。

J-120521